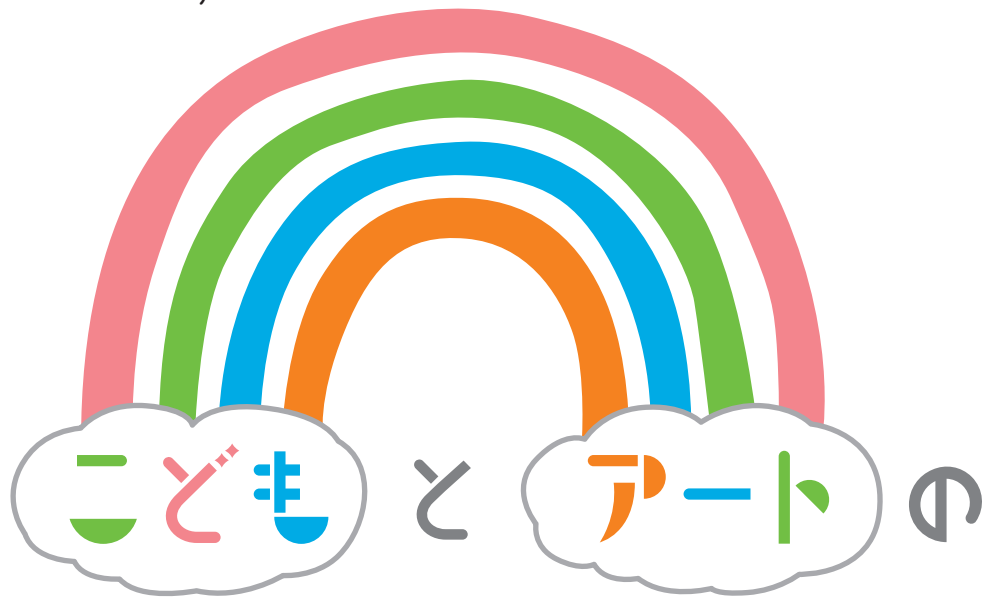


文化庁 令和2年度文化芸術創造拠点形成事業



架け橋プロジェクト 2020

実施レポート

公益財団法人としま未来文化財団 事業企画グループ



はじめに

本プロジェクトは、創造性を育み、子どもたち一人一人の心理的な居場所となる

「アート」と「こども」との『架け橋』を創出するプロジェクトです。

区内の様々な施設を活用し、気軽にアートに触れられる場を提供するほか、

そうした機会が届きにくい子どもたちにも、

ダイレクトにアプローチする体験活動を展開しています。

本誌はこの取組みを記録し、多くの方と共有し、

次なるステップへの対話を広げていくことを目的として作成しました。

そして、新たな対話や共感から、地域の様々な人と連携し、

この取組みを発展させていきたいと思えます。

どうぞ皆さまのご意見・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

実施レポート

コロナ禍での子ども向け事業チャレンジ結果、今後の可能性

本レポートは、文化庁による「令和2年度文化芸術創造拠点形成事業」の助成を受け、としま未来文化財団の事業企画グループが、コロナ禍において実施した4つの子ども向け文化事業の記録である。新型コロナウイルスのパンデミックは、社会全体の仕組みそのものを問い直すことになり、「人を集めてなんらかの感動を共有する」ところに特性を持つこれまでの実施事業も、運営方法を巡って根本的な課題に直面した。事業実施の可否・規模縮小が議論される中、「こどもにアートを届ける」ことを、どう捉えるべきか安全への不安や迷いを抱えながらも、検討を重ねた。

小学校を卒業するまでの子ども時代の1年は、人生の中でもかけがえのない1年である。結論として私たちはそのように考え、従来の方法とは全く違うやり方による子ども向けの4事業の実施を決意した。

この手法が最善であったかどうかは別として、効果と可能性に関しては多くの発見と希望も見出すことができた。各事業の詳細は、各ページをご覧くださいと思うが、ここでは課題と成果を記録し、今後へ向けての経験知とした。

■直面した様々な課題 ～事業目的ごとに最適な実施方法を選択～

最も大きな課題となったのは、「オンラインという未知の選択肢」を視野にいれながらも、どのような実施形態が適当であるか、だった。そこで、対象者の年齢や興味、家庭環境、デジタル端末の普及状況などを学校や地域支援施設から聞き取り調査し、各事業の目的と性質を見つめ直した。

「こどもアートサーカス」は、従来は普段触れることのできないアートの入口として多ジャンルのワークショップを提供してきたのだが、今回は「web版」として、むしろデジタルで楽しみ、新たな可能性を追求できるジャンルを厳選。その結果、アート・アニメーションと音楽をテーマの軸に据え、Zoomを利用した完全オンラインでの実施を目指した。

「きせかえカードをつくろう!!」と「丸シールであそぼう!」は目的が「普段、芸術・文化に触れる機会の少ない子どもたちも参加できるアウトリーチ事業」であるため、「Web環境が整っていない家庭でも気軽に楽しめる仕組み」を構築した。

「0.1.2のおもちゃ箱」は、対象の乳幼児や保護者のニーズに鑑み、感染対策を万全に行った上での「対面実施」を目指すことに決定し、最適な日程・会場・内容へと、すべてを見直した。

■予期していなかった収穫 ～厳しい環境下だからこそ生まれた成果～

細部にわたり準備を重ねたが、どんな成果が生まれるかは未知数だった。しかし、これまでにない実施環境が生まれたことで、思わぬ収穫を得た。

「web版こどもアートサーカス」のオンライン実施では、「お家ならではの自由な創作」「アーティストとの密なコミュニケーション」が生まれた。普段のワークショップでは、事前に準備した「材料・道具」や「時間」に制限があるが、お家でリラックスして素材を選び、それぞれのペースで創作を進めることで、表現の自由度も高まった。自身のモチベーションに合わせて、時間に縛られず、自主性に寄り添う事の重要性を再認識した。直接顔を合わせられないことで懸念された「コミュニケーション」においても、オンラインならではの機能が役立った。アーティストと一対一の対話が可能となり、子どもたちが内面に秘めているストーリーを効果的に引出す事ができた。対面参加が難しい子どもたちにアートを届けるひとつの方法として新たな可能性を感じた。

「きせかえカードをつくろう!!」と「丸シールであそぼう!」では、離れていても、子どもたちとアーティスト間でやりとりが生まれる仕組みを構築。お互いが見えない分、かえって大人の想像を遥かに超える、オリジナリティ溢れる作品が寄せられた。またそうした作品が、アーティストの手によって再びの生を受け、見えない絆を感じてもらえたのではないだろうか。遠隔での実施となり、直接働きかける事が難しくなったため、子どもたちのモチベーションを担保しながら気軽に参加してもらうために、一人一人にオリジナルのオンリーワン記念品を贈るなどの工夫を加えた。

「0.1.2のおもちゃ箱」では、感染症対策として、屋外、また屋内では蚊帳などを用いディスタンスを取って実施した。どちらも新しい試みで、コロナ禍でなかったら行われなかった方法だったが、ロケーションにも恵まれ、演出としてもプラスの効果があった。新たに生み出された空間を実際に共有することによって、アートの持つ力と、「対面実施」のニーズ、その両方を強く感じる事ができた。

準備段階からトライ&エラーを繰り返す中で、このレポートには、とても書ききれないくらい葛藤があったが、無事に4つの事業を終えることができた。今回その一端をここに紹介することで、次なる取り組みに声を寄せてもらいながら、また進んでいきたい。様々な形でご支援くださった各団体様、関係者の皆様、心から感謝申し上げます。

お いっ ち に 0.1.2のおもちゃ箱

親と子のアートサロン『ワークショップとミニシアター』 世界はステキな出会いに溢れている



【目的】

0歳からのアート体験。「世界はステキな出会いに溢れている」を合言葉に、たくさんのお出合いの広場をつくっていくことを目指しています。演劇・人形劇・音楽・舞踊などの様々なジャンルのアーティストを迎え、赤ちゃんと一緒に心と通じる空間の中、芸術や子育てについて思いをはせ、語れる場を提供しています。

親子であそぼ!みんなのひろば 青空ワークショップ「ゆったりのんびりわらべうた」

- 日時 2020/10/19(月) 10:30~12:00
- 会場 自由学園明日館
- 参加対象・人数 0~12ヶ月までの赤ちゃんとその親・7組14名
- 料金 500円
- 参加アーティスト 川中美樹(山の音楽舎)

親子で観よう!はじめての音楽体験 ベイビーミニシアター「マ・プニョ・ンカ!」

- 日時 2020/11/16(月) 10:30~12:00
- 会場 自由学園明日館
- 参加対象・人数 0~12ヶ月までの赤ちゃんとその親・9組18名
- 料金 1000円
- 参加アーティスト あらたに葉子、ぴん太郎(リーフ企画)

親子であそぼ!みんなのひろば 床の上ワークショップ「ゆったりのんびりわらべうた」

- 日時 2021/1/14(木) 10:30~12:00
- 会場 雑司が谷公園 丘の上テラス
- 参加対象・人数 0~18ヶ月までの赤ちゃんとその親・7組14名
- 料金 500円
- 参加アーティスト 川中美樹(山の音楽舎)

親子で観よう!はじめてのパフォーマンス体験 ベイビーミニシアター「まる」

- 日時 2021/1/21(木) 10:30~12:00
- 会場 雑司が谷公園 丘の上テラス
- 参加対象・人数 0~12ヶ月までの赤ちゃんとその親・7組14名
- 料金 1000円
- 参加アーティスト 大沢愛(表現教育研究所)、戸前優子

▶これまでの「乳幼児向け芸術ワークショップ」の取り組み

- 2018年 日本児童・青少年演劇団協議会ベビーシアタープロジェクトの3年間実施の相談を受け参画。「0.1.2のおもちゃ箱」シリーズ初開催。
 - 2019年 2月 同シリーズ「親と子のアートサロン」@ぞうしがや こどもステーション
 - 2020年 9・10月 同シリーズ「親子であそぼ!ワークショップ・親子で観よう!ベビーミニシアター」@ぞうしがや こどもステーション
 - 2月 同シリーズ「親子であそぼ!ワークショップ・親子で観よう!ベビーシアター」@としま区民センター
- ※主な内容 ワークショップ「とびだせ絵本」「ゆったりのんびりわらべうた」
ベビーシアター 山の音楽舎 うたのたね~おんがくのはじまり~ ほか



▶2020年度の実施について

コロナ禍で外へ出かけるのが難しい中、赤ちゃんやママ・パパたちにアートや芸術に触れる機会を増やし、育児の心配や不安感を喜びや生きる力に転換してほしいと願い実施しました。全国公立文化施設協会の劇場運営規定やベビーシアタープロジェクトの感染症予防規定等を参考に、参加者の安心・安全につなげるため当事業用の規定を策定、ホームページ上でも情報公開し、徹底した感染症対策を行いました。これまでと比べ定員・実施時間を減らしたことで体験者数は減りましたが、リピートを希望する方も多く、実施回数や開催頻度を考えるきっかけになりました。また、今年度は3年間計画の最終年度で今後は自立した運営を求められることから、これまで利用していた施設以外での実施を試み、事業のPRのほか、来年度につなげる関係づくりも意識しました。



参加者の声

運営の方々がとても丁寧で優しさが伝わってきました。コロナ対策も素晴らしく、安心して参加できました。今後もコロナでも安心して楽しめるイベントを企画して下さると嬉しいです。

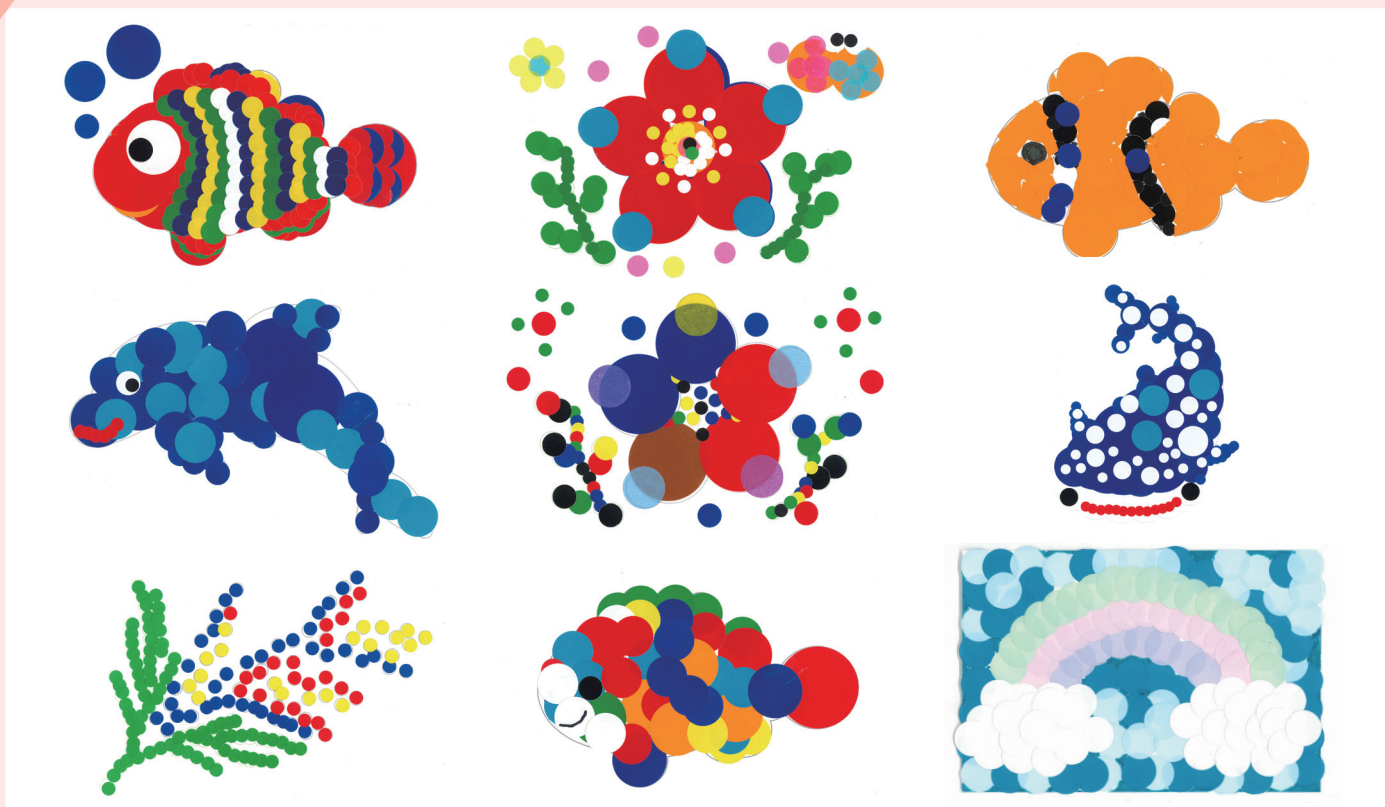
日常生活ではなかなか経験できない貴重な時間をありがとうございました。

緊急事態宣言の中、開催されるか不安でしたが万全に対策をして下さり開催頂きありがとうございました。子どもが興味津々でシアターを見ていたので刺激になったようです。運営して下さった皆様に感謝申し上げます。

今回芝生がとても気持ちよく子どもも楽しそうだったので、屋外(芝生だとお天気に)で楽しめるイベントにまた参加したいです。今後も、子どもに劇や音楽等々のエンターテインメントを生で体験させてあげたいです。画面を通してだと伝わらない感動を伝えたいです。

- 主催: 公益財団法人としま未来文化財団、日本児童・青少年演劇団協同組合ベビーシアタープロジェクト
- 共催: 豊島区
- 助成: 公益財団法人東京都福祉保健財団 子供が輝く東京・応援事業 令和2年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業
- 宣伝美術: 山本菜央

丸シールであそぼう！ あなたもシールでアーティスト！



【目的】

本事業は、文化的体験機会の不均衡を是正し、文化芸術を通して生み出される“居場所”や“創造性”を育むことを目的としてスタートしました。鑑賞事業へのご招待のほか、楽器やアート作品、アーティストが身近に感じられるよう、日常空間にも直接体験の機会を届ける取組を展開しています。

- 日時 2020年8月 工作キット配布・作品募集
- 会場 各家庭※ NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワークを通して地域の子ども達に「アートキット」を配布。
- 参加対象・人数 〈配布〉250セット 〈応募〉79件 103作品
- 料金 無料
- 参加アーティスト 大村雪乃

こどもたち×アーティスト「丸シールであそぼう！」巡回展示

- 日時 2020年10月3日(土)から2021年3月30日(火)
- 会場 としま区民センター〈まちかどこども美術展〉
千早地域文化創造館
豊島区立中央図書館
雑司が谷地域文化創造館
あうるすぽっと(舞台芸術交流センター)
巢鴨地域文化創造館(中山道待夢)
駒込地域文化創造館
南大塚地域文化創造館
Echika 池袋ギャラリー〈アートショーケース内〉
- 料金 無料
- 参加アーティスト 大村雪乃



▶これまでの「子ども、若者支援機関連携事業」の取り組み

- 2018年 豊島区内の子ども食堂・無料学習支援団体等との連携により、出張ミニコンサートの開催、鑑賞事業へのご招待をスタート。
「みんなの音楽」出張ミニコンサート
10月 「椎名町子ども食堂ミニコンサート ～口笛とピアノで奏でるハーモニー～」
@椎名町子ども食堂 金剛院 蓮華堂
12月 「クリスマス ミニコンサート ～あたたかで華やかな5色の金管楽器の響き～」
@中高生ジャンプ東池袋 ホール
- 2019年 通年 鑑賞公演(音楽・演劇)ご招待 14公演 120名参加



▶2020年度の実施について

コロナ禍に見舞われた本年は、直接子どもたちの手元に「アートキット」をお届けし、子ども自身が自由に創作すること、その創作作品が誰かと繋がり、新たな創造を生み出すことを実感してもらうプログラムを目指しました。子ども、アーティスト、子ども・若者支援機関、地元企業との連携により実現し、区内9ヶ所の施設にて作品の巡回展示も実施しました。

▶アーティストより

コロナ禍により私たちの日常は変容してきました。困難を強いられる時代において必要とされているのは一人一人の「想像力」だと思います。集団で集まるのが難しくなった昨今、子どもたちが家で創作した作品たちが大きな共同作品となって披露され大きな「想像力」の結晶となるでしょう。アートは厳しい状況の時こそ必要とされています。アートの「創造性」が私たちの生きる「原動力」となり「未来への希望」を示してくれるからです。

大村雪乃

▶2020年制作の道のり

2020年
6月

「アートキット」制作
下絵・シール



8月
9月

「アートキット」配布・作品募集

応募作品を使ってコラボレーション作品を制作

コラボレーション作品2点(B0判)完成・記念品送付

※コラボレーション作品(A4判出力)と、記念品として一人一人の作品をプリントしたエコバックを送付。エコバックは株式会社ユニクロ池袋サンシャイン60通り店より寄贈。



10月～3月

区内9ヶ所の施設を巡回展示。最終会期のEchika池袋ギャラリーでは、大村雪乃さんの代表的な丸シールアート作品と共に展示し、その魅力にも迫った。

参加者の声

大きいシールにちいさいシールをはりあわせたら、きれいなものになった。丸いシールをかさねるといろんな形になってたのしかったです。

シールをはると、思っていたよりきれいにできた。とおくから見ると本物の絵みたい。

たのしかった 娘が楽しそうでした。たのしいステイホームになりました。ありがとうございます。

かわいくてよかったです。バックを作ってくれてありがとうございます。楽しかったです。またやりたいです。

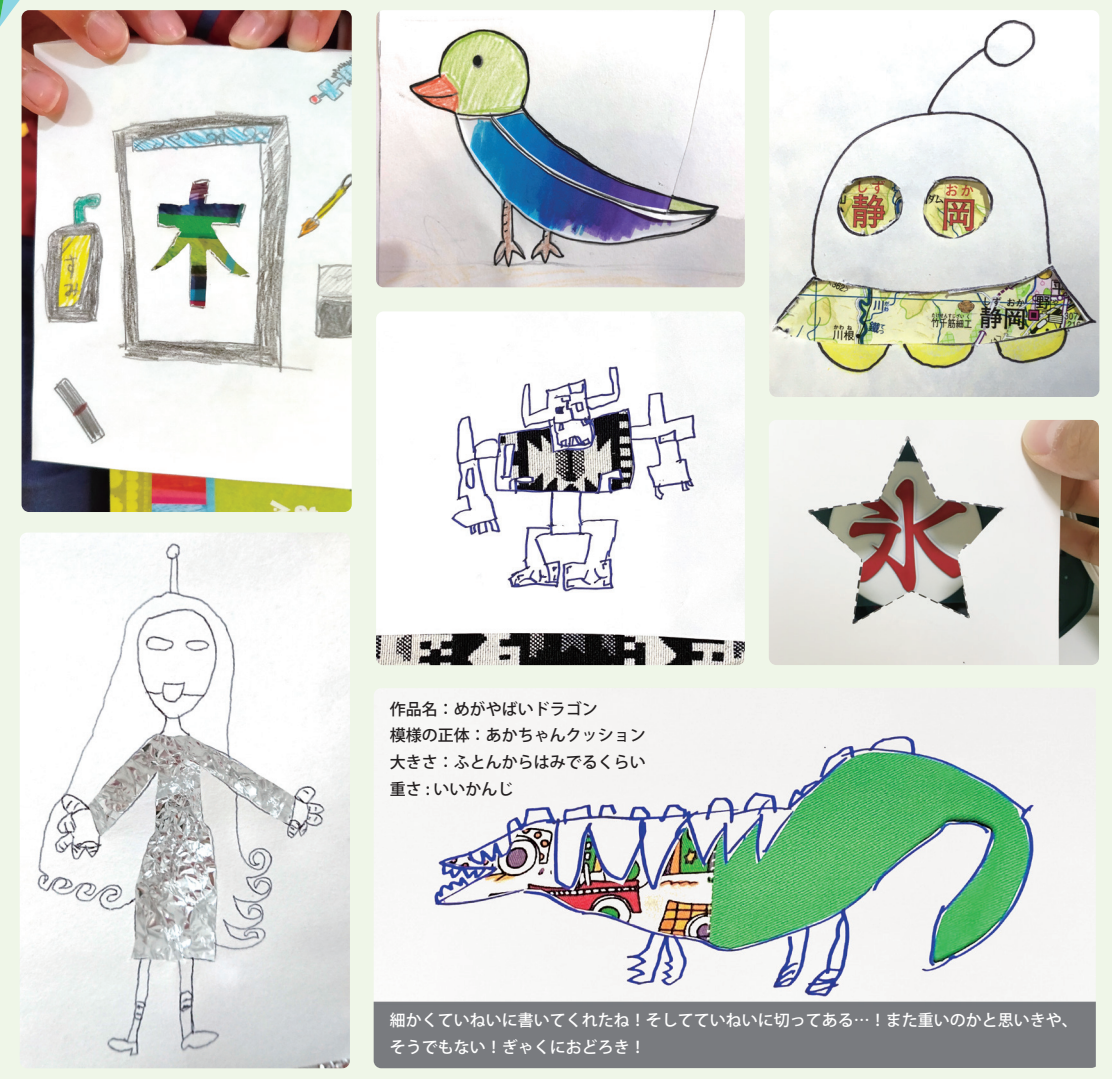
むずいのでお姉ちゃんにたつだってもらいました。

娘が好きなピンクと紫のシールを選んで、楽しんで、お花の形にシールを貼っていました。バッグが届くの楽しみにしています。めったに出来ない体験を下さりありがとうございました。

- 主催：公益財団法人としま未来文化財団
- 助成：令和2年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業
- 連携：NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク 株式会社ユニクロ池袋サンシャイン60通り店

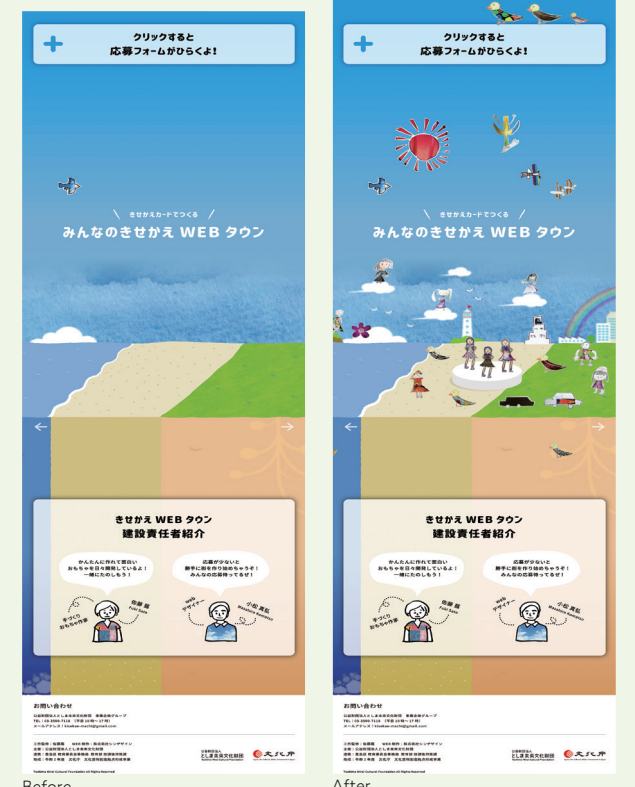
きせかえカードをつくろう!!

～おいでよみんなのきせかえWEBタウン～



[目的]
本事業は放課後の時間を活用した、楽しく遊びながらの芸術活動を通し、子どもたちの創造力とコミュニケーション能力の育成を促すとともに、心豊かに育まれる文化環境の創出を目指しています。また、家庭環境等により公募型では掘りきれない文化芸術体験機会の少ない子どもにも直接的にアプローチし、体験の場を提供する事も重要な要素として位置付けています。具体的には、豊島区内の学童施設等にアーティストの派遣(アウトリーチ事業)を行なっています。

- 日時 2020年8月1日 チラシ配布開始、WEB公開(作品募集開始)
- 8月7日 第1回作品募集
- 8月14日 第2回作品募集・第1回作品公開
- 8月21日 第3回作品募集・第2回作品公開
- 8月30日 第4回作品募集・第3回作品公開
- 9月4日 最終公開・「きせかえWEBタウン」完成
- 会場 特設WEBサイト
- 参加対象・人数 <チラシ配布>10000部
<応募>80件
掲載作品数74件
- 料金 無料
- 参加アーティスト 佐藤蒔(手づくりおもちゃ作家)
小松真弘(webデザイナー)



Before 特設WEBサイト <https://kisekai-machi.com>

▶これまでの「区内児童施設等連携事業」の取り組み
放課後の小学生を対象とした演劇ワークショップのほか、職員向けワークショップを実施

- 2017年 一般財団法人地域創造と連携したリージョナルシアター事業としてスタート。翌年からは財団での単独開催。
 - 9・10月 職員向けWS としま南池袋ミーティングルーム・南池袋小学校PCルーム
 - 9・10月 子どもスキップ朝日・池袋本町・南池袋
 - 2018年 8月 子どもスキップ目白・長崎・仰高・駒込・高松 5か所
 - 2019年 7月 職員向けWS としま南池袋ミーティングルーム
 - 8月 子どもスキップ清和・巣鴨・西巢鴨・さくら 4か所
- ※主な内容 (職員向け) 日常の遊びの中に演劇的手法を生かすための演劇WS。
<子ども向け> ジェスチャーゲーム・おばけを作ろう・拍手のリレー ほか
- ※子どもスキップとは学校施設を活用して、小学生を対象とする育成事業と学童クラブを総合的に展開する豊島区の事業・施設



▶2020年度の実施について
休校や施設の休園などにより、従来のように直接訪問すること(アウトリーチ)は難しい状況でした。そこで、「コロナ禍でも、おうちでアーティストと交流しながら、普段と違った視点で創造的な遊びを楽しめる企画」をコンセプトに企画を組み立てました。Web上に何も無い「街」を用意、作り方はお便り(チラシ)で伝えました。投稿してもらった作品は、講師からの一言メッセージとともにWebにアップ。1ヶ月で賑やかな街ができあがりました。

▶アーティストより
今年の夏は、例年になくおうち時間が長くなってしまったので、家の中の身近な素材を遊びに変えるアイデアにしました。たくさんの子供たちが参加してくれ、作品からはイキイキと元気なパワーが伝わってきました。

手づくりおもちゃ作家 佐藤 蒔

「色々なアイデアを出して欲しい!」
そんな思いから、空や海の中も街にしてはどうだろうと考えました。応募作品はどれも独創性にあふれ、見ていて楽しくなるものばかり。みんなで一つの街を作り上げた、とても魅力的な企画でした。

webデザイナー 小松真弘



※応募時に寄せられた作品情報の一部をご紹介します。

身の回りのものをいろいろ試してみて、九九の表が面白いかなと思いました。他も試してみたいです。

コロナがすっかりおさまって、またおんなのこはマスクなしで おでかけできるようになりました!

座布団に印字された英語の文字をいかして、洋服の模様になりました。ナチュラルな自然色の洋服という感じです。

自分なりにつけて、おもしろかったです。

可愛い星が羊に似合うと思いました。もっといろいろなもので試してみたいです。

- 主催：公益財団法人としま未来文化財団
- 助成：令和2年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業
- 連携：豊島区教育委員会事務局 教育部 放課後対策課

web版 こどもアートサーカス2020

旅するサーカス団



【目的】

「こどもアートサーカス」は、子どもたちが学校や習い事とは別の場所で、アートに出会い体験する場です。アートの世界に誘ってくれるアーティストや、同世代の仲間たちと一緒に楽しい時間を過ごす中で、「好き」「得意」を見つけ、創造力・表現力・発想力・コミュニケーション力を磨きながら、健やかな身体と感性豊かな心を育みます。

アニメーション

ストップモーション・アニメーションを作ろう!

自分で創作したキャラクターを、身近な材料で工作し、ストップモーション・アプリでコマ撮り撮影します。

- 日時 (1) 7/23(木・祝) 10:00~15:00
小学1・2年生5名と保護者
(2) 7/24(金・祝) 10:00~15:00
小学3・4年生10名と保護者
(3) 7/25(土) 10:00~15:00
小学5・6年生2名と保護者
- 料金 3000円(撮影キット代・送料含む)
- 参加アーティスト 古国府薫、片山なのあ

みんなで作るコラージュ冒険地図 わいわいお絵描き

PC上で画面共有しながら、アーティストが子どもたちの絵をコラージュして、ミニアニメーション映画の背景や世界を作り上げます。

- 日時 (1) 7/26(日) 10:00~12:00
小学1~3年生11名とご家族
(2) 7/26(日) 14:00~16:00
小学4~6年生8名とご家族
- 料金 500円
- 参加アーティスト 古国府薫、片山なのあ

音楽

- 各参加対象・人数 小学校1~6年生・6名
- 各料金 1000円

ピアノとあそぼう

ピアノの中身をズームカメラで紹介。ピアノの音をきいてイメージを自由に描いたり、子どもたちの絵をピアノで表現します。

- 日時 8/15(土) 10:30~11:15
- 参加アーティスト 中川賢一(ピアノ)
有馬純寿(音楽家)

ハープの世界を探検しよう!

クイズに答えながらハープを紹介。ハープの音色とみんなと一緒に合奏にも挑戦。

- 日時 8/15(土) 14:45~15:30
- 参加アーティスト 福島青衣子(ハープ)
有馬純寿(音楽家)

ビックリ!ズッコケ!けんぱんハーモニカ

けんぱんハーモニカは、おでこで演奏してもいいし、体操しながら演奏してもいい。正解は一つじゃない!いろいろやってみよう。ビックリ、ズッコケの音楽で、でも面白くてカッコいい。

- 日時 8/16(日) 11:30~12:15
- 参加アーティスト 野村誠(ケンハモ)、有馬純寿(音楽家)

声ってミラクル!

体と声で、自分の好きなオノマトベを楽しもう!

- 日時 8/15(土) 13:00~13:45
- 参加アーティスト 鷗木絵里(声楽)
有馬純寿(音楽家)

一緒に!音探し& ズレズレセッション

身近な材料やボディパーカッションでズレズレセッションを楽しもう。

- 日時 8/16(日) 10:00~10:45
- 参加アーティスト 野尻小矢佳(打楽器)
有馬純寿(音楽家)

▶今年度の実施について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各家庭から参加できるオンライン形式で「コマ撮りアニメ」と「音楽」のワークショップを実施。スペシャル企画として、個々のワークショップの創作物とアーティストがコラボしミニアニメーション映画を制作し、Youtubeで公開。



▶2020年制作の道のり

2020年 4月~6月 <スペシャル企画立ち上げ>

「コマ撮りアニメ」ワークショップで子どもたちが作った動画や背景画を講師が編集し、ひとつの映像にまとめる。そこに「音楽」ワークショップで子どもたちから録音した音や、講師の音楽家たちが制作した音楽をのせて、ミニアニメーション映画を完成させる、という企画。

アニメーション

<打合せ・検証>

- ・講師打合せ・企画内容決定
- ・撮影用のオリジナルキット試作。
- 【オンライン実施のシミュレーション】
zoomのブレイクアウトルーム機能を用い、キャラクターの動きや撮影方法を個別指導が可能か検証。
進行を細かくシミュレーション。

7月~8月 <コマ撮りアニメWS用キット送付>

「ストップモーション・アニメーションを作ろう!」実施 <キャラクター作り>

自分で創作したキャラクターを、身近な材料で工作。ストップモーション・アプリでコマ撮り撮影。撮影後、動画データを講師宛に送信。

「みんなで作るコラージュ冒険地図 わいわいお絵描き」実施 <映画の背景作り>

一人一人が紙に描いた絵をPCやタブレット端末のカメラに向けてスクリーンショット撮影。撮影画像を共有画面上で講師がコラージュ。ミニアニメーション映画の背景となる世界がどんどん広がっていく様子をリアルタイムで共有。

<ミニアニメーション映像編集>

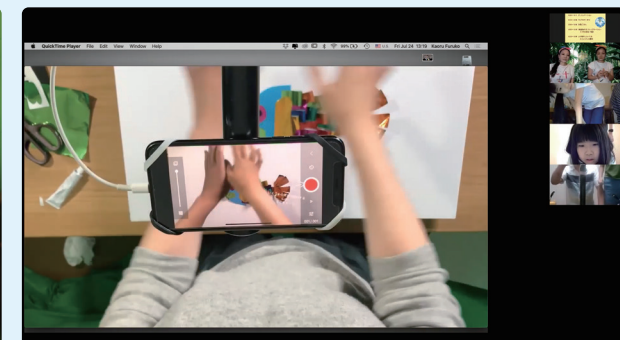
子どもたちが制作した動画・背景の編集作業が完了。音楽講師陣に引き継ぐ。

<ミニアニメーション映画の音楽編集>アーティスト全員でリモート会議を行い、映画の構成、音楽のつけ方について話し合いを重ねる。

<最終編集・メイキング制作>

9月

ミニアニメーション映画「みんなのぼうけん」、17の作品からなるショートショート「それぞれのおはなし」、メイキング映像 公開



音楽

<打合せ・検証>

- ・講師打合せ・企画内容決定
- 【オンライン実施のシミュレーション】
ワークショップ時の撮影方法、カット割り、画面の切り替えなど検証。また、実演の現場での感染症拡大防止対策も徹底。



音楽ワークショップ実施

5つのワークショップの中で、ミニアニメーション映画の素材として、事前に子どもたちが用意した音を鳴らしてもらいZoomで録音。

音楽収録

ミニアニメーション映画のテーマ曲「あやしいサーカス団 Les Six 2020 for こどもアートサーカス2020」の収録およびMV撮影。また、子どもたちの個々の作品を集めたショートショート背景音楽の収録も行われた。



▶これまでの「小学生向け芸術ワークショップ」の取り組み

2004年 豊島区在住・在学の小学生を対象とした芸術体験プログラムを開始。
 2018年 音楽中心の舞台芸術を体験しながら自己表現の方法を学ぶプログラムとして開催。
 2019年 「夏休みこどもアートサーカス」として夏休み期間の体験プログラムに再編。
 8月10日~15日 6日間 延べ580名参加 @としまセンタースクエア
 ※主な内容・参加アーティスト
 〈プログラミングのせかい〉原田康徳(合同会社デジタルポケット)
 〈美術のせかい〉杉山智佳子、平良志季(アーティスト集団D-DEPOT)
 〈からだパフォーマンスのせかい〉山猫団>長井江里奈、北園優/鷺田実土里
 〈伝統芸能のせかい〉野村万蔵家(萬狂言)一門、望月左太寿郎(邦楽囃子方)
 〈音楽のせかい〉中川賢一(ピアニスト)、野村誠(作曲家・鍵盤ハーモニカ奏者)、鶴木絵里(ソプラノ歌手)、野尻小矢佳(打楽器奏者)



プログラミングのせかい



美術のせかい



からだパフォーマンスのせかい



伝統芸能のせかい



音楽のせかい



音楽のせかい

参加者・保護者の声

自宅だったので、描きたいものの資料も材料もそばにありオンラインワークショップならではの良さを感じました。

今回のイベントは、今オンラインでできる最高傑作だと思います!子どもは大喜びで2時間はあっという間でした。

講師の先生の説明もわかりやすかったし、送ってもらった機材も、使いやすくて、良かったです。初めて、挑戦したけれど、とても上手くできて、とても満足しました。また、一人でも、作ってみたいです。

他の方となるべく接しない生活や、出かけて何かを体験することができなくなっている中で、オンラインで体験することができて、本当にありがたかったです。先生も明るく、たくさんほめてくださって、楽しかったです。これからも、オンラインで様々なことを体験できる企画をたくさんお願いいたします。

とても刺激的で終了してからも子ども達も楽しかった一つと興奮状態でした。

みんなで声をだして、色々な音から想像することが楽しかったみたいです。

子どもに感想を聞いてみましたところ、スポンジと水で音を出したことが1番楽しかったそうです。身近なところから色々な音が作れるんだと、新たな発見がありました。先生方の演奏も聞くことができ、感動しました。

休校期間以降、オンラインワークショップに良くも悪くも慣れており好き嫌いがはっきりしているのですが、今回はすぐ引き込まれて終始集中していました。画面オンにするのを極度に嫌がるので画像なしでしたがとても楽しかったようです。

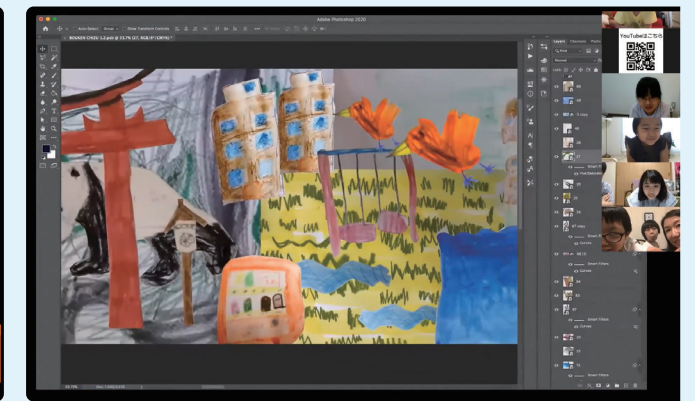
ピアノの構造についてのお話や、参加者のそれぞれの様子がよく分かりました先生のご演奏に合わせての絵の即興など、オンラインならではの良さも感じられました。ありがとうございました!

我が家の子どもは、鍵盤ハーモニカを吹くことが大好きなので、楽しんで参加することが出来ました。頭で弾いたりエレベーターを上ったりと、こんなに自由に楽しい弾き方があるんだと思いました。音楽家の先生と子ども達12人でのセッションは最高でした。オンラインならではの、貴重な体験でした。

▶実施写真



Zoomでの音楽ワークショップ



Zoomでのコマ録りアニメワークショップ



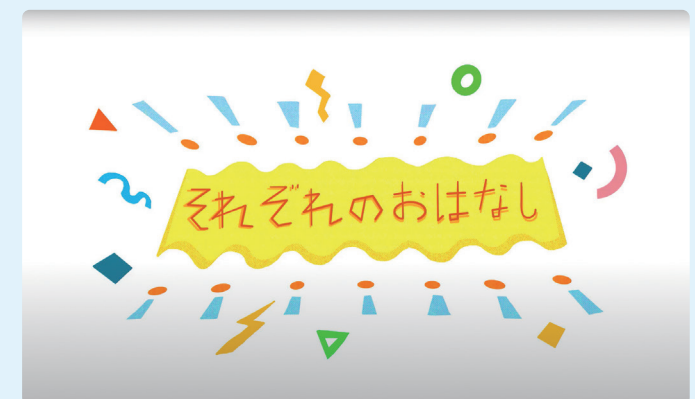
ミニアニメーション映画の音楽録音風景



コマ録りアニメワークショップ講師作業風景



ミニアニメーション映画「みんなのぼうけん」冒頭シーン



ミニアニメーション映画「それぞれのおはなし」冒頭シーン



ミニアニメーション映画「みんなのぼうけん」ワンシーン



「みんなで作るコラージュ冒険地図」ワークショップライブ画面



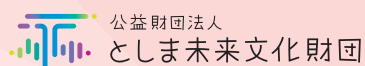
web版 こどもアートサーカス2020
<https://www.toshima-mirai.or.jp/tabid216.html?pdid1=2001>
<https://kodomoartcircus2020.com>



作品はこちらから
 ご覧いただけます。

公益財団法人としま未来文化財団
事業企画課 事業企画グループ

助成：文化庁 令和2年度文化芸術創造拠点形成事業



豊島区は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています